

クビアカツヤカミキリ の概要と対策手法

1

愛知県 環境局 環境政策部 自然環境課

1 基本的事項

- 原産地：中国、朝鮮半島、台湾、ベトナム
- 体長：22～38 mm
- 体色：全体は光沢のある黒色、前胸部が赤い
- 食樹：主にバラ科（サクラ、ウメ、モモ、スモモ等）

サクラよりはモモ・スモモで被害が出やすい

- 生態：幼虫は生木の内部で木部を食して成長。樹木内で1～3年過ごした後、羽化して樹木の外に出る（幼虫が活発にフラスを排出するのは4～11月）。成虫の活動期間は6～8月、発酵した樹液等を摂食する。
- 繁殖：樹皮の割れ目等に産卵

一度の産卵で1,000以上の卵を産み、繁殖力が極めて高い



戸田尚希氏提供

2 被害の確認方法

他種との見分け方（フラス編）

- ひき肉状に固まったもの ⇒ **クビアカ**
ただし、古いと風化して一見粉状にごま粒をスライスしたような粒子を含む
- ゴマダラカミキリと似るが、
ゴマダラは**大きな繊維**が目立つ場合が多い
(予防的処理を推奨)



2 被害の確認方法

他種との見分け方（フラス編）

- 赤褐色で、ひき肉状に固まったもの ⇒ クビアカ
ただし、古いと風化して一見粉状に
ごま粒をスライスしたような粒子を含む

- 粉末状で色が暗い
⇒ シリアゲアリ類



2 被害の確認方法

他種との見分け方（フラス編）

- ひき肉状に固まったもの ⇒ **クビアカ**
ただし、古いと風化して粉状に
ごま粒をスライスしたような粒子を含む
- ヤニの塊とひとまとまりになった糞
- 大ききの揃った球状の粒子
⇒ ガ類（コスカシバ、ヒメボクトウ）



2 被害の確認方法

スマートフォンでも特徴が分かる写真を撮影可能

※引きの写真（フラスの排出量が分かるもの）もあるとよい



2 被害の確認方法

他種との見分け方（脱出口編）

- 主に生材部に楕円の穴＋大量のフラス
⇒ クビアカ
- 古い材部に楕円の穴
⇒ ウスバカミキリ
 - 主に死んだ材を摂食
 - 都市部でも見られる
 - フラスはゴマダラと同じ繊維状



2 被害の確認方法

他種との見分け方（脱出口編）

- 主に生材部に楕円（長径2～3cm）の穴
+大量のフラス
⇒ クビアカ
- 生材部に真ん丸（直径1～1.5cm）の穴
⇒ ゴマダラカミキリ



クビアカ



ゴマダラ



ゴマダラ

3 防除方法（物理的防除）

掘り取り・刺殺

- 最低限の樹皮を剥ぎ、幼虫を掘り出す
- トンネルの奥にいる場合は突き殺す
- 成虫は踏みつぶすか叩きつぶす（手袋着用）
- 必要なもの：鉋、金槌（釘抜き付き推奨）、針金等

○ 確実 ○ 安価

× 手間がかかる

△ ある程度の慣れが必要、
人によっては心理的抵抗？



3 防除方法（化学的防除）

エアゾール剤

- 排出口からフラスを掘り出し、薬剤を噴霧
- 必要なもの：薬剤、針金・千枚通し・竹ひご等

○△ 手間・費用とも中程度

！ 薬剤を幼虫に到達させるため、

トンネル内のフラスをしっかりと取り除くことが必要

× 効果の確認に数日かかる

！ 腐朽防止のため、切り口には殺菌ペーस्टを塗布（推奨）



3 防除方法（化学的防除）

樹幹注入剤

- 樹体の低い位置に薬剤を打ち込み、
水や養分の流れに乗せて樹体内に行き渡らせる

○効率的に処理できる ×薬剤が高価

×被害が大きいと効きにくい（使うなら被害初期）

！腐朽防止のため、切り口には殺菌ペーストを塗布
（推奨）

！処理後も経過観察が必要



3 防除方法（化学的防除）

樹幹散布剤

- 樹幹に薬剤を吹き付けて、表面の成虫や樹皮下の若齢幼虫を殺す & 産卵防止
- 散布時期は成虫シーズン（特に発生初期）

○ 効率的に処理できる

× 内部の幼虫には効かない（樹皮下まで）

！ 周囲への飛散可能性

！ 効果は天候に左右される

！ 処理後も経過観察が必要



3 防除方法（最終手段）

伐倒

- 拡散を防ぐため、被害木を伐採して中の幼虫を駆除
- 伐倒後は破碎（チップ化）・燻蒸・焼却



○伐採後、燻蒸orチップ化することで確実に処理可能

⇒ 推奨！（特に、被害が大きい樹木（脱出孔が一つでもある等））

×高額

！所有者の許諾が必要

！切り株に幼虫が残る可能性あり

⇒ 可能なら抜根

難しければシート・セメント等で被覆



特に民地では
難しい場合が多い



3 防除方法（拡散防止・被害予防）

ネットの巻き付け

- 0.3～4mm目の防鳥ネットを使用
- 外からの産卵も防止(0.3mm目かつ白色が理想)

！ぴっちり巻くと、木からの脱出時に噛み切られる
⇒ ゆったりめに巻く

！口をしっかり塞ぐとともに、根まで覆うことが必要

！2～3日に1回見回り → 確認した成虫は捕殺
(見回りをしないと、ネット内で羽化→産卵することで被害が激甚化するおそれも)

